

# EGOTERIC

X-50<sub>w</sub>



D00509000D

**TEAC**

エソテリック製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、一台一台が数多くの厳しい品質管理を受けて製造されております。

X-50wは、エソテリック・シリーズの最高峰モデルとして誕生しました。

最良のコンディションでご使用いただけますように、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくご使用になり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

また、お読みいただいたあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

## 目次

特長	3
安全にお使いいただくために	4～5
ご使用の前に	6～7
設置上のご注意    高さ調節について	
使用上のご注意    電源の極性管理について	
コンパクトディスクについて	
防振装置について	
各部の名称	8～10
本体前面    本体背面	
リモート・コントロール・ユニット	
リモコンについて	11
使用上のご注意    乾電池について	
接続	12～13
DIGITAL OUTの接続	
LINE OUTの接続	
電源コードの接続	
演奏	14～15
基本操作( ノーマル演奏 )	
トレイが開いたままでも	
ダイレクト選曲    シングル演奏	
プログラム演奏	16～17
聞きたい順に演奏する    曲を省いて演奏する	
リピート演奏	18～19
1曲を繰り返して演奏する	
全曲を繰り返して演奏する	
指定の区間を繰り返して演奏する	
プログラム・リピート演奏	
便利な機能	20～21
スキップ・キーで選曲する	
インデックスで演奏指定する	
ダイレクト・インデックス・サーチ	
サーチ・キーで選曲する	
オート・スペース・キー    ディスプレイ・キー	
演奏時間をみる	22
タイマー演奏	23
解説	24
ブロック・ダイヤグラム	25
このようなときは	26
保証とアフターサービス	27
仕様	28
寸法図	29

# 特長

## X-50w コンパクトディスクプレーヤー

### ■VRDSメカニズム

(アルミ切削ターンテーブル採用)

ディスクと同径のターンテーブルにディスクを確実にクランプさせることにより、ディスク自身の持つ固有振動やメカニズム系の不要振動を徹底排除しています。また、ディスク圧着面にゆるやかな傾斜を与えることにより、ディスクの反りや歪みを矯正しています。さらに、光学ピックアップとディスクのピット面の相対光軸精度が向上するため、サーボ電流が軽減されます。以上のことは、ディスク読み取りエラーを減少させ、かつクロック回路へのタイミングエラー発生防止にも効果を発揮します。

### ■ワディア社がVRDSメカニズムのために

設計した差動バランスD/A回路搭載

FIR型デジタル・フィルタで8倍オーバーサンプリングをした後、さらなるオーバーサンプリングをするため、ティアックオリジナルサイン波移動平均回路を用いています。また、片チャンネル当り2DAC差動構成とすることにより、動作上19ビットのD/A変換をさせています。4DACのバランス出力は、そのままアナログ・フィルタを通すことなく、直接XLRコネクタに導かれるシンプルストレート構成になっています。

### ■メカニズム系とD/A部の電源部を完全分離

高音質化のためにメカニズム制御系とD/A部の電源トランスを完全分離しました。

### ■超高剛性シャーシ&3点支持ピンポイント・インシュレーター

8mm厚スチール・ボードをベースとし、最大厚20mmのH型アルミ押し出し材にVRDSメカニズムを直付け、さらに前面および側面には、1.6mm厚の銅メッキ剛板をさらにニッケル・メッキを施した二層構造とすることにより、内部干渉を極力排除、さらに音質の改善を獲得しました。

また、リジット筐体構造を前方2点、後方1点のハイカーボン鋳鉄製インシュレーターでピンポイント支持、振動分散効果を向上しております。

# 安全にお使いいただくために

- この取扱説明書の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や財産への損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをする  
と、発生が想定される内容を〔警告〕、〔注意〕に区分して絵表示をしています。内容をよく理解し  
てから本文をお読みください。
- 注意事項のいずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 絵表示の例

	△記号は、警告または注意を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

	<b>警告</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの水や液体の入った容器を置かないでください。または内部に異物を入れないでください。万一、水や異物が入ったときは、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●万一、煙が出たり、変な臭いや音がするなどの異常があるときは、すぐ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>●この機器を使用できるのは、日本国内のみです。表示された電圧(交流100V)以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードの上に重い物をのせたり、コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したり、束ねたりしないでください。コードが破損(芯線の露出、断線)し、火災・感電・発熱の原因となります。コードが傷んだら販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用しないでください。</li> <li>●電池を充電しないでください。電池の破壊、液もれにより火災・けがの原因となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分自身で修理したり、分解したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。</li> <li>●この機器を改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。



- 次のような場所に置かないでください。火災・感電・けがの原因となることがあります。
  - ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所。
  - ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
  - ・ 湿気やほこりが多い場所。湯気や油煙があたる場所。
  - ・ 極端に温度が低い場所。



- 電池を誤って使用しないでください。破壊や液もれにより、火災・けがの原因や周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・ 指定以外の電池を使わない。古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。
  - ・ プラス(+)とマイナス(-)の極性表示に注意し、電池ケースの指示通り入れてください。
  - ・ 電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、火や水の中に投げ込んだりしない。



- 本機には鉄製のスパイク脚が付いています。設置の際、けがをしないようにご注意ください。また、スパイクで家具や台に傷を付けないようにご注意ください。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。視力障害を起こすことがあります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- お子様ディスクの挿入口に、手を入れないようにご注意ください。手や指をはさみ、けがの原因となることがあります。



- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。漏電・火災の原因となることがあります。
- 本機を移動するときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、必ず先端のプラグ部を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、感電やショートして発火する原因となることがあります。
- リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を取り出して置いてください。電池から液がもれて周囲を汚損する原因となることがあります。
- 本機の質量は、本体25kgあり大変重いので、開梱時や設置および移動のときは、二人で行うなどけがをしないように十分ご注意ください。

# ご使用の前に

## ■設置上のご注意



**注意**

次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。

- 振動の多い場所や不安定な場所。
- 窓際など、直射日光が当たる場所。
- 暖房器具のそばなど、極端に温度が高い場所。
- 極端に温度が低い場所。
- 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- チューナー、テレビなどのそば。  
雑音の原因や映像が乱れることがあります。

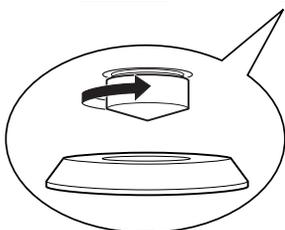
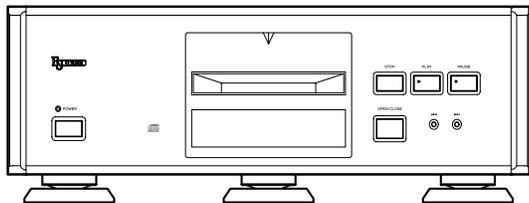
## ■高さ調節について



**注意**

本機には、硬質樹脂製の脚と鉄製ピンポイント脚が付いています。

- ピンポイント脚で設置する際は、付属のインシュレーター（ピンポイント脚受け）を使用します。
- ピンポイント脚は、本体に取り付けてください。
- 設置の際は、けがをしないようご注意ください。また、ピンポイント脚で家具や台に傷を付けないようご注意ください。



## ■使用上のご注意



**注意**

### 本体の清掃

化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で拭かないでください。表面を傷める原因となります。トップパネルや前面の汚れは、中性洗剤液を水で薄め、柔らかい布に少し含ませて拭いてください。

### スタビライザーを使わない

市販のCD用スタビライザーを使わないでください。演奏ができなくなったり、故障の原因となります。

### 結露現象について

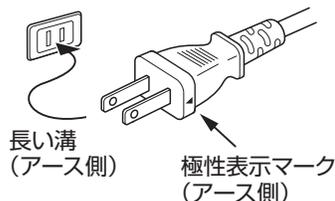
冬期などに、本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を置いている部屋の暖房を入れた直後などには、動作部に水滴（結露現象）がつき、正常に演奏ができないことがあります。

電源を入れたまま1～2時間放置すると、水滴がとれて正常に動作するようになります。

## ■電源の極性管理について

本機は、より良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の“極性表示”印が付いています。本機では、印の付いている方がアース側です。

一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。“極性表示”印が付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみる、などの方法で音質の良い方を選択してください。

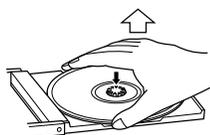


## ■コンパクトディスクについて

本機は、コンパクトディスク (CD) 専用のプレーヤーです。CDにDISCマークが入っているなど、JIS規格に合致しているディスクをお使いください。

- ディスクをケースから取り出すときは、必ず一度、ケースの中心を押して、ディスクの外周部を手ではさむように持って取り出してください。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかい布で中心から外側へ直角方向に、軽く拭いてください。汚れは、音飛びの原因になります。使用後は清掃し、ケースに入れて保管してください。

ディスクの取り出し方

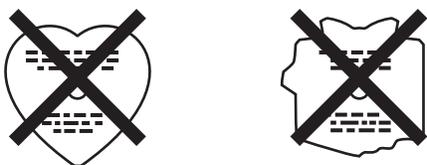


ディスクの拭き方



- 直射日光が当たる場所や高温になる所、また湿気の多い所に置かないでください。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ひびが入ったディスクを使わないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどを剥したあとがあるもの、またはシールなどから糊がはみ出ているCDは使わないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使わないでください。取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

特殊形状ディスクの例



## ■防振装置について

出荷時は輸送時の振動防止のため、ピックアップ部を防振装置で固定してあります。接続をする前に、必ず防振装置を解除状態にしてください。

### ■解除のしかた

- 接続をする前に、防振装置を解除してください。
- 図のように左側面を下にして立て、付属の“金具”を底面の穴に差し込んで、左方向 (FREE側) へ約30° 軽くゆっくり回します。

### ■引越しなどで輸送する際は

- ピックアップ部を防振装置で固定してください。
- 電源を入れてトレイを開け、ディスクが入っていないことを確認して、トレイを閉じてください。
- 電源を切り、接続コードをすべて外します。
- 図のように左側面を下にして立て、付属の“金具”を底面の穴に差し込んで、右方向 (LOCK側) へ約30° 軽くゆっくり回します。



ご注意

防振装置は、かるく少し回すだけで解除、または固定できます。力を入れて回すと防振装置の破損につながります。ご注意ください。

## 音のエチケット

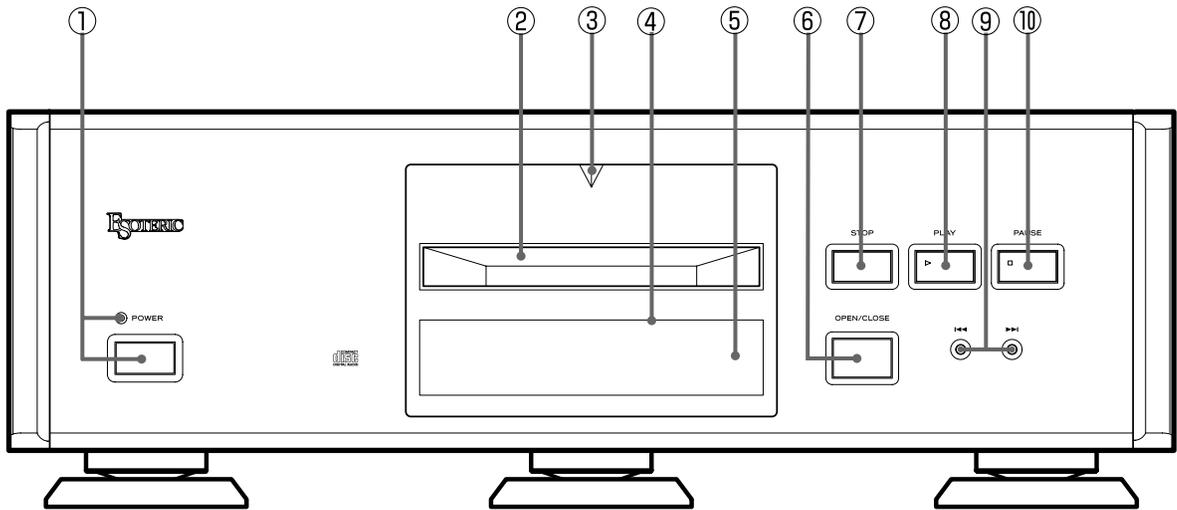
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がからないように音量でお聞きください。特に夜は小さな音でも、周囲にはよく通るものです。窓を開けたり、ヘッドホンをご使用になるなど、お互いに心を配り、楽しい生活環境を守りましょう。

このマークは、音のエチケットのシンボルマークです。



# 各部の名称

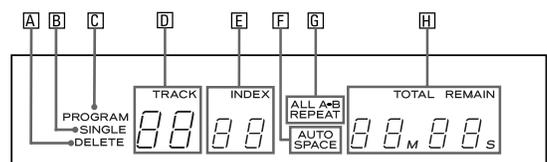
## ■本体前面



( )内の数字は、参照ページです。

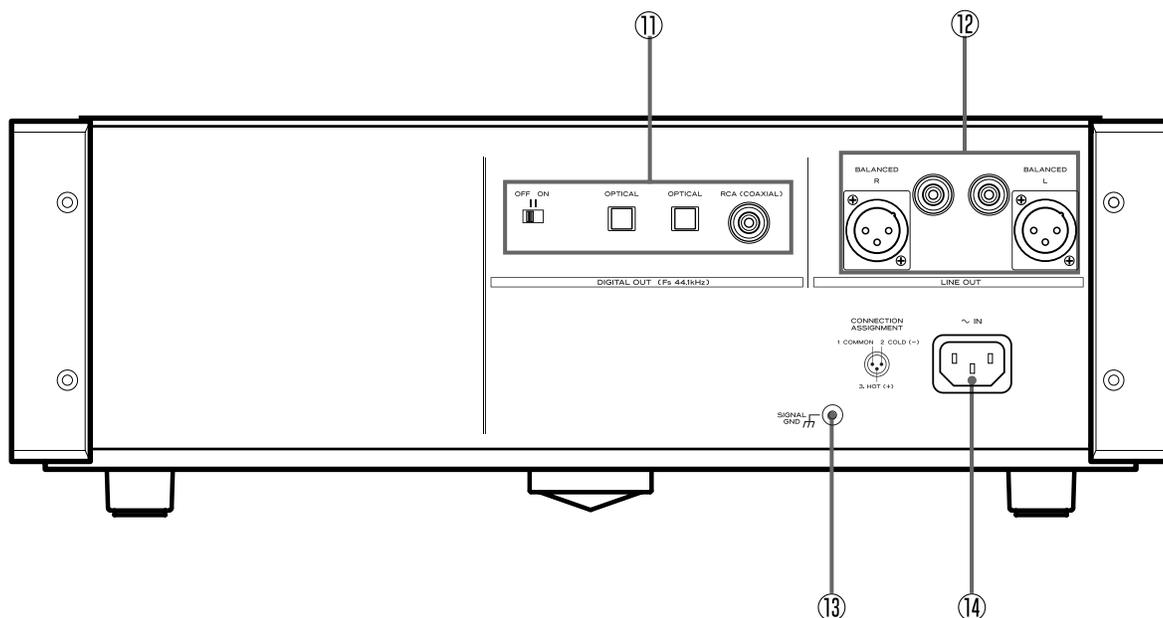
- ①電源スイッチ (POWER) & パワーインジケータ (13)
- ②ディスクトレイ (13)
- ③オープン/クローズインジケータ & ディスクインジケータ
- ④表示窓
- ⑤リモコン受光部 (11)
- ⑥オープン/クローズキー (OPEN/CLOSE) (13)
- ⑦ストップキー (STOP) (13)
- ⑧プレイキー (PLAY▶) (13)
- ⑨ミュージックスkipキー (◀◀/▶▶) (14,19)
- ⑩ポーズキー (PAUSE ||) (13)

### 表示窓



- ▲A)デリートモード (DELETE)
- ▲B)シングルモード (SINGLE)
- ▲C)プログラムモード (PROGRAM)
- ▲D)トラックナンバー (TRACK)
- ▲E)インデックスナンバー (INDEX)
- ▲F)オートスペース (AUTO SPACE)
- ▲G)リピートモード (A-B/REPEAT)
- ▲H)タイムカウンター (TOTAL/REMAIN)

## ■本体背面



⑪デジタル出力端子〔DIGITAL OUT (Fs44.1kHz) / デジタル出力“ON/OFF”スイッチ (12)

- OPTICAL(TOS)X 2 : Fs 44.1kHzのデジタル信号が、TOS端子から出力します。
- RCA(COAXIAL): Fs 44.1kHzのデジタル信号が、RCA端子から出力します。

Fs( 標本化周波数 )44.1kHzの出力を使用するときは、これらの端子に接続して、デジタル出力スイッチを“ON”にしてください。

⑫ライン出力端子

- XLR(BALANCED): アナログ信号を、XLRバランス型のコネクターから出力します。
- RCA : アナログ信号を、RCA端子から出力します。

直接ステレオアンプ等に接続する時は、これらの端子に接続します。

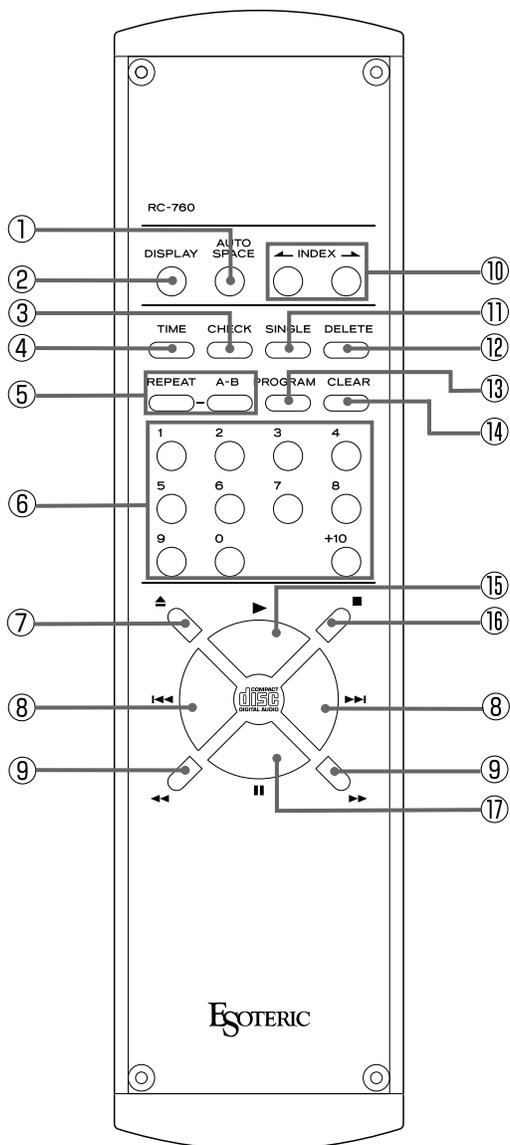
⑬アース端子〔GND〕(12)

⑭電源コード接続ソケット〔~ IN〕(12)

## ■ リモート・コントロール・ユニット (リモコン) RC-760

( )内の数字は、参照ページです。

- ①オート・スペース・キー〔AUTO SPACE〕 (20)
- ②ディスプレイ・キー〔DISPLAY〕 (20)
- ③チェック・キー〔CHECK〕 (15,16)
- ④タイム・キー〔TIME〕 (21)
- ⑤リピート・モード・キー〔REPEAT/A-B〕 (20)
- ⑥ダイレクト選曲キー (14,15,19)
- ⑦オープン/クローズ・キー〔OPEN/CLOSE〕 (17,18)
- ⑧ミュージック・スキップキー〔◀◀/▶▶〕 (19,20)
- ⑨サーチ・キー〔◀◀/▶▶〕 (20)
- ⑩インデックス・キー〔←INDEX→〕 (19)
- ⑪シングル・モード・キー〔SINGLE〕 (14,17)
- ⑫デリート・モード・キー〔DELETE〕 (16)
- ⑬プログラム・モード・キー〔PROGRAM〕 (15)
- ⑭クリアー・キー〔CLEAR〕 (15,16)
- ⑮プレイ・キー〔PLAY▶〕 (13,14)
- ⑯ストップ・キー〔STOP〕 (13)
- ⑰ポーズ・キー〔PAUSE⏸〕 (13)



# リモコンについて

## ■使用上のご注意

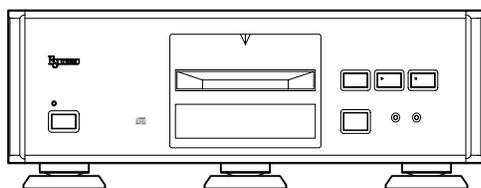


**警告**

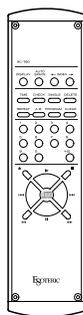
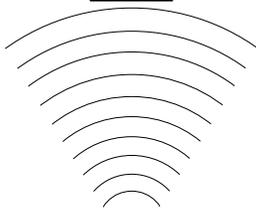
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池の液もれを防ぐために、乾電池をケースから取り出してください。

液もれしたときは、付着した液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

- 本機の受光部に向けて操作してください。  
障害物があると、操作できません。
- 赤外線で操作する他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、他の機器を誤動作させることがあります。



7 m



(RC-760)

## ■乾電池について



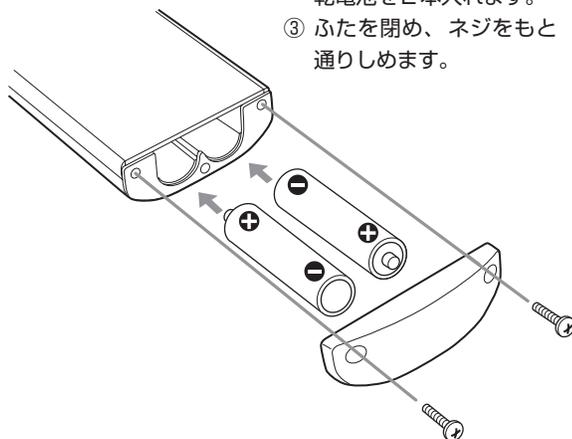
**注意**

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂のおそれがあります。乾電池の注意事項を守り、正しくお使いください。

1. 裏ぶたを開け、単3の乾電池2本を+と-の表示を確認して電池ケースに入れ、ふたを閉じてください。
2. 種類の違う乾電池、または新しい乾電池と使った乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池は絶対に充電しないでください。
4. 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、水中や火中に投げ込んだりしないでください。
5. 操作範囲が狭くなったり、操作ができなくなるときは、乾電池が消耗しています。2本とも、新しい乾電池に交換してください。

### 乾電池の入れかた

- ① リモコン下部のネジをはずして、ふたを開けます。
- ② +と-を確認して、単3乾電池を2本入れます。
- ③ ふたを閉め、ネジをもと通りしめます。



# 接続

接続する前に、接続する取扱説明書をよくお読みください。必ず機器の電源を切ってください。  
電源コードは、最後に接続してください。

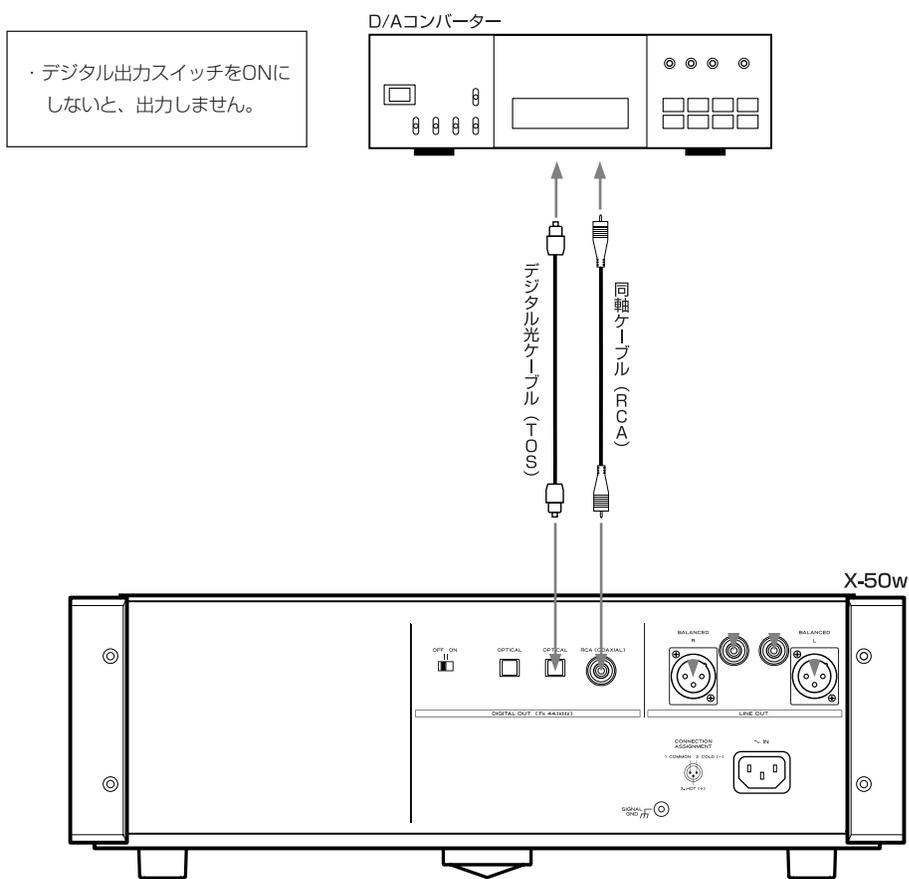
## ■DIGITAL OUT端子の接続

- デジタル出力端子 (DIGITAL OUT (Fs 44.1kHz)) とD/Aコンバーター、またはデジタル入力端子付きのアンプを指定のコードで接続します。
- RCA同軸コードで、D/AコンバーターのBNC端子に接続する場合は、BNC-RCA変換プラグを使用します。
- 本機とチューナーの設置が近すぎると、ノイズが混入する場合があります。チューナーと離して置か、チューナーの電源を切ってください。

- (OPTICAL)端子と光デジタル・ケーブルはキャップを外して接続します。接続しないときは、キャップをはめておいてください。
- 出力端子のデジタル出力スイッチを“ON”にしてください。

### デジタル出力端子 (Fs44.1kHz)

- OPTICAL(TOS)×2 : TOS光デジタル・ケーブルで接続。
- RCA(COAXIAL) : RCA同軸コードで接続。



## ■LINE OUT端子の接続

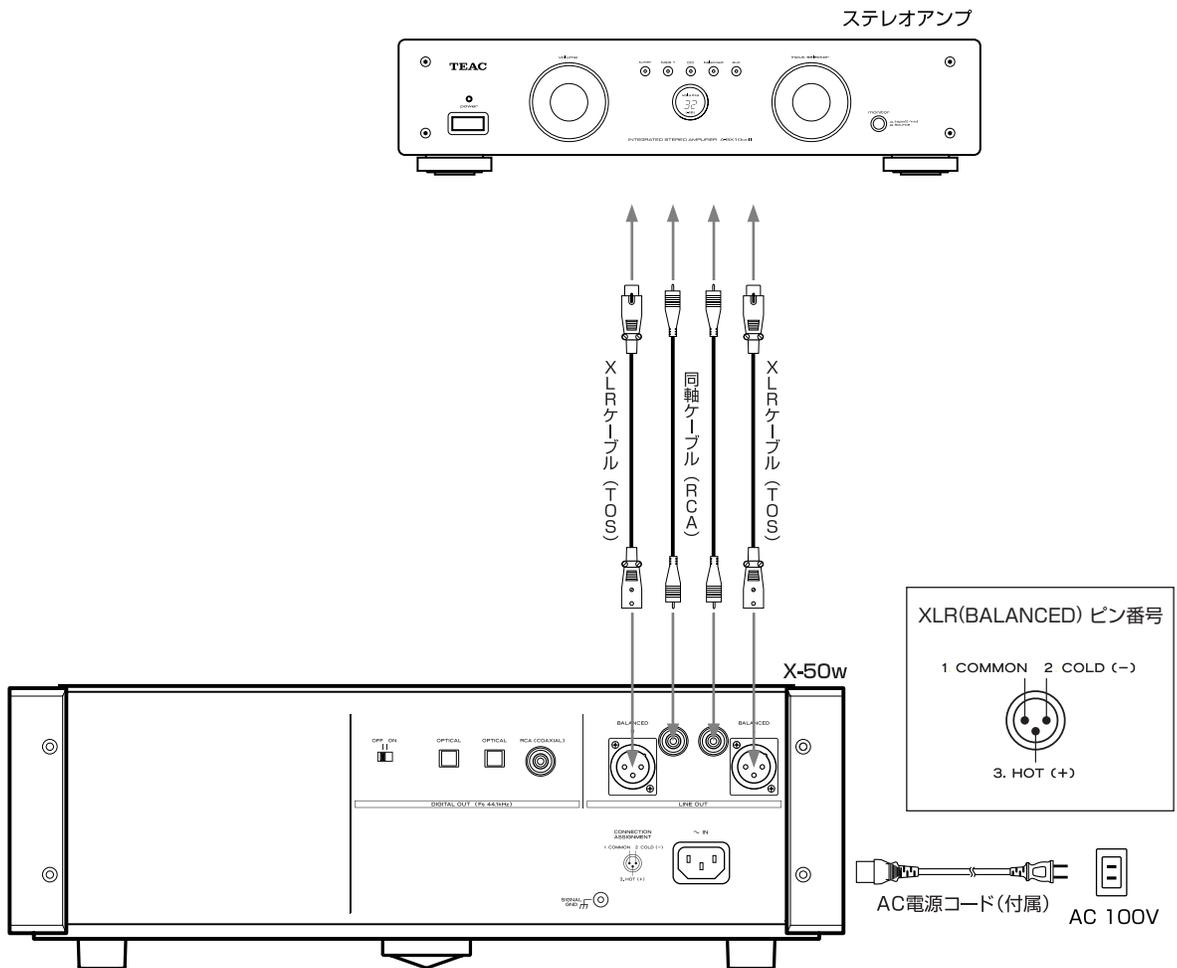
- 出力端子とステレオ・アンプを直接指定のコードで接続します。

### 出力端子

- XLR(BALANCED)X 2 : XLRバランス型のケーブルで接続。
- RCA(COAXIAL): RCA同軸コードで接続。

## ■電源コードの接続

- 必ずAC(交流)100Vの電源コンセントに接続してください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグ部分を持って行ってください。
- 濡れた手で電源コードに触れないでください。



# 演奏

## ■基本操作(ノーマル演奏)

1. 本体の〔POWER〕スイッチを押す。  
●リモコンで操作することはできません。



インジケータが点灯します。

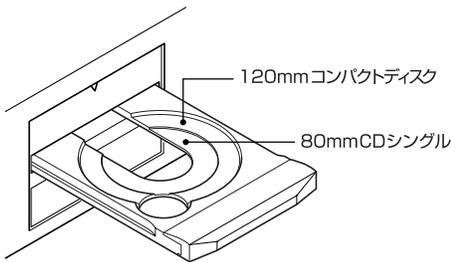
2. 〔OPEN/CLOSE〕キーを押す。

- ディスク・トレイが手前に出てきます。
- 表示窓にOPENを表示します。
- 電源が入っていないときは、ディスク・トレイの開閉はできません。



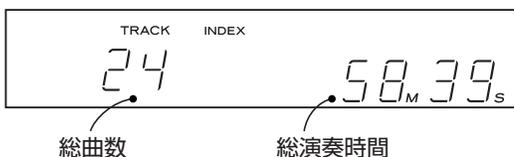
インジケータが点滅します。

- ディスクは、レーベル面を上向きにして、ディスク・トレイの中央にのせます。



3. 〔OPEN/CLOSE〕キーを押す。

- インジケータが点滅し、ディスク・トレイが閉じます。表示窓にCLOSを表示します。
- ディスクのTOC情報を読み取り、総曲数と総演奏時間を表示します。(インジケータ点灯)



4. 〔PLAY▶〕キーを押す。

- ディスクの1曲目から演奏を始めます。
- ステレオ・アンプの音量を調節します。

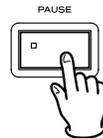


インジケータが点灯します。



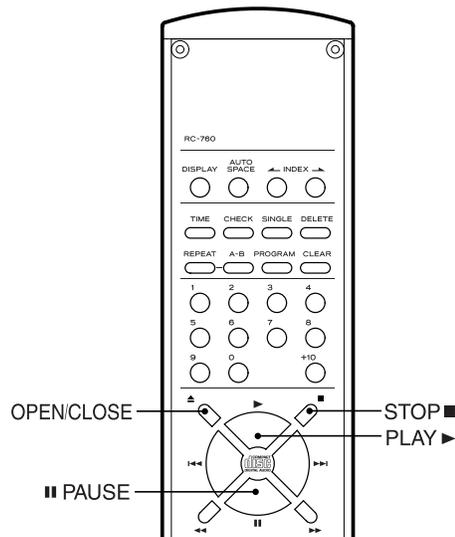
5. 一時停止は〔PAUSE||〕キーを押す。

- 一時停止中に〔PAUSE||〕または〔PLAY▶〕キーを押すと、再び演奏を始めます。



インジケータが点灯します。

6. 停止は〔STOP〕キーを押す。



(このページの操作で使用するキー)

## ■トレイが開いたままでも……

[PLAY▶]キーを押すと……

- トレイが自動的に閉じ、1曲目から演奏を始めます。

ダイレクト選曲キー(リモコン)を押すと……

- トレイが自動的に閉じ、“ダイレクト選曲キー”で指定した曲番から演奏を始めます。

[PAUSE ||] キーを押すと……

- トレイが自動的に閉じ、1曲目の頭で一時停止します。
- [PAUSE||] または [PLAY▶] キーを押すと、再び演奏を始めます。

## ■ダイレクト選曲

リモコンのダイレクト選曲キー(1~9、0、+10)で、聞きたい曲の番号を入力すると、[PLAY▶]キーを押すことなく、指定の曲番の演奏を始めます。

[例] 曲番5をダイレクト選曲するとき：

- ➔5のキーを押す。

[例] 曲番21をダイレクト選曲するとき：

- ➔+10を2回押し、次に➔1を押す。
- +10は10の位です。1の位を入力しないと、入力完了になりません。

## ■シングル演奏 (SINGLE)

指定の1曲だけを演奏して停止します。

1.[SINGLE]キーを押す。

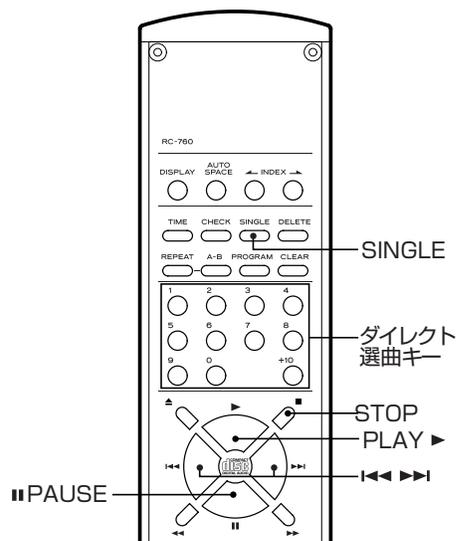
- 表示窓にSINGLEが点灯します。

2.ダイレクト選曲キーまたは[◀◀/▶▶]キーで曲番を指定する。

- ダイレクト選曲キーで曲番を指定すると、演奏が始まります。

3.[PLAY▶]キーを押す。

- [◀◀/▶▶]で選曲したときは、[PLAY▶]キーを押すと、演奏が始まります。
- シングル演奏を解除するには、もう一度[SINGLE]キーを押します。



(このページの操作で使用するキー)

# プログラム演奏

## ■聞きたい順に演奏する

(プログラム演奏)

聞きたい曲を聞きたい順に、20曲までプログラムして、演奏することができます。また、プログラム中にPAUSEを入れると、プログラム演奏を自動的に一時停止することができます。

## ■プログラムのしかた

〔例〕 2→ 4→ PAUSE→ 15→ 10の順に演奏する

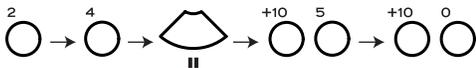
1. 停止中に〔PROGRAM〕キーを押す。

- 表示窓にPROGRAMが点灯します。

PROGRAM



- ノーマル演奏中に〔PROGRAM〕キーを押すと、演奏中の曲をプログラムの1番目としてメモリーします。
  - 演奏中に、PAUSEをプログラムすることはできません。
2. ダイレクト選曲キーを押して入力する。
- 曲番を入力をする度に曲番、曲順および総演奏時



曲番 (TRACK No.) 曲順 (演奏順) 総演奏時間

間を表示します。20曲までプログラムできます。

- 同じ曲番をプログラムすることができます。
- PAUSEを二度続けてプログラムすることはできません。
- 曲番21以降がプログラムに含まれていると、総演奏時間は表示できません。
- PAUSEをプログラムすると、その次の曲からは、PAUSE後の総演奏時間を表示します。
- 曲番を間違えて入力したときは、〔CLEAR〕キーを押すと取り消しができます。

3. 〔PLAY▶〕キーを押す。

- プログラム入力を終了し、曲順1から順に演奏します。PAUSEの位置で一時停止します。演奏を続けるときは、〔PLAY▶〕キーまたは〔PAUSE〕キーを押します。
- PAUSEを入力していない場合は、最後のプログラム曲の演奏が終ると停止します。
- プログラム演奏が終了して停止したとき、または〔STOP〕キーを押して停止したときもプログラムデータは保存されています。
- 停止中に〔STOP〕キーを押すと、“PROGRAM”を表示していても、プログラムデータは消滅します。
- 〔PROGRAM〕キー、〔DELETE〕キー、〔SINGLE〕キーを押すと、“PROGRAM”表示が消えてプログラムデータは消滅します。
- ディスク・トレイを開けると、全てのプログラムが消滅します。

## ■プログラム内容のチェック

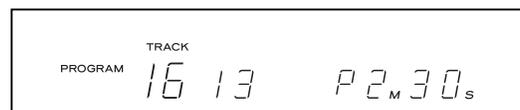
プログラム入力中、または演奏中に〔CHECK〕キーを押します。〔CHECK〕キーを押すたびに、プログラム曲番・曲順・合計演奏時間を表示します。

CHECK



- 総演奏時間が100分を越えた場合は、〔分〕の十の位に一(100分台)、P(110分台)、A(120分台)、b(130分台)、d(140分台)、無灯(150分台)をそれぞれ表示します。

〔例〕 総演奏時間が112分30秒の場合の表示



- 曲番21以降の曲がプログラムに含まれているときは、“.....”が表示されます

## ■プログラムの修正(追加/削除)

### プログラムの追加

- プログラム曲を追加する場合は、プログラム演奏をする前、またはプログラム演奏中に追加したい曲番をダイレクト選曲キー(1~9、0、+10)で入力します。
- プログラムの途中に曲を追加する場合は、先ず〔CHECK〕キーを押し、追加したい曲順の前の曲順を表示させて、追加したい曲番をダイレクト選曲キー(1~9、0、+10)で入力します。

### プログラムの削除

〔例〕2→4→15→10のプログラムから15を削除する場合

- 1.〔CHECK〕キーを押して曲番15(TRACK NO.)を表示する。



- 2.〔CLEAR〕キーを押す。

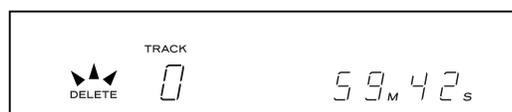


- 曲番15が削除され、次の曲番10が繰り上がって表示されます。
- 他にも削除したい曲番がある場合は、1と2の操作を繰り返します。

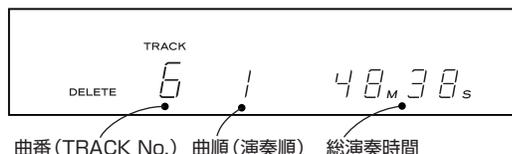
## ■曲を省いて演奏する (デリート・プログラム演奏)

聞きたくない曲を省いて演奏(デリート・プログラム演奏)することができます。プログラム演奏とは反対の意味合いを持ちますが、プログラムの手順は同じです。

- 1.〔DELETE〕キーを押す。(DELETE点灯)
- 〔DELETE〕キーを押すと、総演奏時間を表示します。演奏中の曲はデリートできません。



- 2.ダイレクト選曲キーで省きたい曲番を入力する。



- さらにデリートする場合は、ダイレクト選曲キーで曲番を入力します。
- 曲番を入力をする度にデリート曲番、デリート順および総演奏時間を表示します。
- 演奏する曲に曲番21以降が含まれていると、総演奏時間が表示されません。
- デリート・プログラムの修正は、プログラムの修正の場合と同じ手順で行います。
- 曲番を間違えて入力したときは、〔CLEAR〕キーを押すと取り消しができます。
- 〔CHECK〕キーを押すと、デリートした曲番を小さい順に並び変えて表示します。

- 3.〔PLAY▶〕キーを押す。

- デリート・プログラムした曲を省いて総演します。

# リピート演奏

## ■繰り返して演奏する(リピート演奏)

ディスクの全曲、1曲、または聞きたい部分(A-B)を繰り返して演奏することができます。シングル演奏、プログラム演奏、デリート・プログラム演奏でも繰り返して演奏することができます。

### ■1曲を繰り返して演奏する (シングル・リピート演奏)

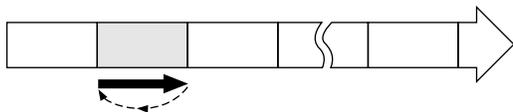
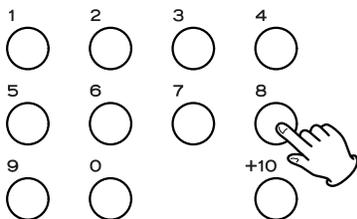
1.〔SINGLE〕キーを押す。(SINGLE点灯)



2.〔REPEAT〕キーを押す。(REPEAT点灯)



3.ダイレクト選曲キーで曲番を入力する。



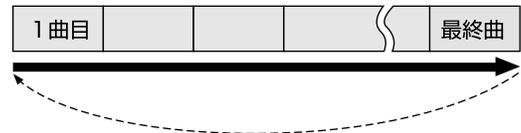
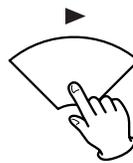
- 指定の曲を繰り返して演奏します。
- 演奏中に〔REPEAT〕キーを押すと、その曲を繰り返して演奏します。
- シングル・リピートを解除するには、〔REPEAT〕キーと〔SINGLE〕キーをもう一度押します。

## ■全曲を繰り返して演奏する (オール・リピート演奏)

1.〔REPEAT〕キーを押す。(REPEAT点灯)



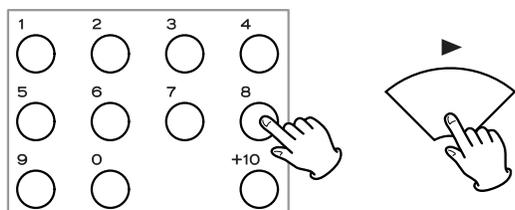
2.〔PLAY▶〕キーを押す。



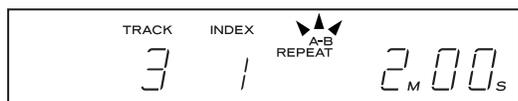
- 全曲を繰り返して演奏します。
- 演奏中に〔REPEAT〕キーを押すと、最後の曲まで演奏して1曲目に戻り、全曲繰り返して演奏します。
- オール・リピートを解除するには、〔REPEAT〕キーをもう一度押します。

## ■ 指定の区間を繰り返して演奏する (A-Bリピート演奏)

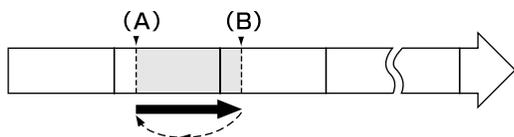
1. ダイレクト選曲キーまたは〔PLAY▶〕キーを押して演奏を始める。



2. 繰り返しを始めた位置 (A) で、〔A-B〕キーを押す。(REPEAT点灯/A-B点滅)



3. そのまま演奏を続け、繰り返しを終わる位置 (B) で再度〔A-B〕キーを押す。(REPEAT/A-B点灯)

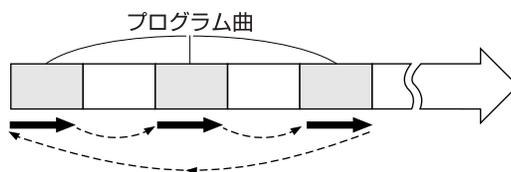


- 指定のA-B間を繰り返して演奏します。
- A-Bリピートを解除するには、〔REPEAT〕キーを押して表示を消します。
- プログラム・モードおよびシングル・モードでは、曲間をまたぐA-Bリピートはできません。

## ■ プログラム・リピート演奏

プログラム演奏およびデリート・プログラム演奏時に〔REPEAT〕キーを押すと、プログラム演奏を繰り返して演奏します。

- A-Bリピートを解除するには、〔REPEAT〕キーを押して表示を消します。
- プログラム・モードおよびシングル・モードでは、曲間をまたぐA-Bリピートはできません。



- プログラム・リピートを解除するには、〔REPEAT〕キーをもう一度押します。

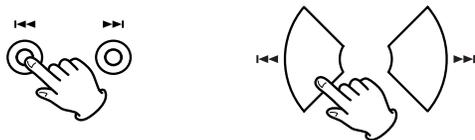
# 便利な機能

## ■スキップ・キーで選曲する (ミュージック・スキップ)

演奏中または一時停止中に〔◀◀/▶▶〕キーを押すと、聞きたい曲の頭出しができます。

- プログラム演奏中は、プログラム曲番をスキップして演奏を続けます。
- デリート・プログラム演奏中は、デリート・プログラム曲番を除き、スキップして演奏を続けます。
- 停止中または、一時停止中に〔◀◀/▶▶〕キーを押すと、曲番を選択できます。

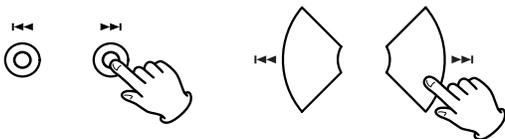
## ■前の曲スキップする



本体またはリモコンで操作

- 演奏中に〔◀◀〕キーを押すと、演奏曲の頭に戻り、さらに〔◀◀〕キーを押す度に、前の曲の頭にスキップして演奏を続けます。
- リピート・モードで1曲目を演奏中に〔◀◀〕キーを押すと、1曲目の頭に戻り、もう一度押すと、最終曲の頭にスキップして演奏を続けます。

## ■後の曲スキップする



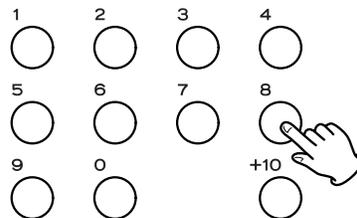
本体またはリモコンで操作

- 演奏中に〔▶▶〕キーを押すと、次の曲の頭にスキップして演奏を続けます。さらに〔▶▶〕キーを押す度に、次ぎの曲の頭にスキップして演奏を続けます。
- リピート・モードで最終曲を演奏中に〔▶▶〕キーを押すと、1曲目の頭にスキップして演奏を続けます。

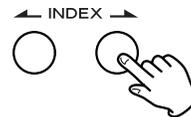
## ■インデックスで演奏指定する (インデックス・サーチ)

インデックス番号が記録されているディスクでは、聞きたいインデックスから、演奏を始めることができます。

- 1.ダイレクト選曲キーでインデックス・サーチしたい曲番を入力して演奏する。



- 2.〔◀INDEX▶〕キーを押し、希望のインデックス番号を表示します。(INDEX点灯)



- 指定のインデックス番号をサーチして演奏します。
- 記録されているインデックス番号以上の番号を入力すると、その曲の最後のインデックス番号から演奏します。

インデックスとは、1曲の中をいくつかの区切って、それぞれに付けた索引番号のことです。インデックス番号が記録されているディスクには、(INDEX)マークが付いています。

## ■ダイレクト・インデックス・サーチ

1. 停止中に〔◀◀/▶▶〕キーで曲番を選択する。
2. 〔←INDEX→〕キーでインデックス番号を指定する。
3. 〔PLAY▶〕キーを押す。

- 指定曲の指定のインデックス番号をサーチして、演奏を始めます。

## ■サーチ・キーで選曲する (ミュージック・サーチ)

演奏中または一時停止中に〔◀◀/▶▶〕キーを押すと、押している間早送り(▶▶キー)/早戻り(◀◀キー)になり、曲の聞きたい部分を探し出すことができます。



- サーチ中再生音が小音量で聞こえますので、再生音と表示窓の時間表示を確認しながら、聞きたい部分を探し出します。指を離すと通常の演奏になります。
- 演奏中に、ディスクの最終曲の最後まで、またはプログラムの最終曲の最後まで早送り(▶▶キー)すると、一時停止になります。
- 演奏中に、ディスクの最初の曲の頭まで、またはプログラムの最初の曲の頭まで早戻り(◀◀キー)にすると、サーチを止めて演奏が始まります。
- 一時停止中のサーチは、指を離すと一時停止になります。

## ■オート・スペース・キー

リモコンの〔AUTO SPACE〕キーを押すと、曲と曲の間を一定(約4秒間)にして演奏します。

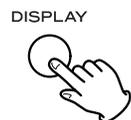
MDやテープに録音後、頭出しするときに便利です。

- 表示窓にAUTO SPACEが点灯します。
- もう一度〔AUTO SPACE〕キーを押す、または〔STOP〕キーを押すと、表示が消えて解除します。



## ■ディスプレイ・キー

リモコンの〔DISPLAY〕キーを押すと、パワー・インジケータを除くすべての表示を消灯することができます。表示管から発生する微量なノイズを避け、音質を最優先にすることができます。

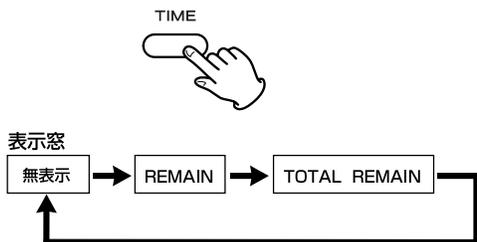


- 消灯中に他のキーを操作すると、約4秒間点灯した後消灯します。
- もう一度〔DISPLAY〕キーを押すと解除します。
- 消灯モードは、トレイを開けても解除しません。〔DISPLAY〕キーを押して解除してください。電源〔POWER〕を切ったときは解除します。

# 演奏時間をみる

## ■ 演奏時間をみるには (タイム・モード)

リモコンの〔TIME〕キーを押してタイム・モードにすると、総演奏時間、総経過時間や残量時間などを知ることができます。MDやテープにダビングするとき便利です。



## ■ 通常のカウンター(表示無し：経過時間)

〔TIME〕キーを何度か押し、カウンター上部の表示を消すと、各曲ごとの演奏経過時間を表示します。

(曲番3の経過時間 2分4秒)



- ディスクを入れ、最初の演奏状態では経過時間を表示します。

## ■ リメイン・カウンター(REMAIN：残量時間)

〔TIME〕キーを何度か押し、カウンター上部の表示を“REMAIN”にすると、各曲ごとの演奏残り時間を表示します。

(曲番3の残量時間 8分17秒)



- 曲番21以降の曲を演奏するときは表示できません。

## ■ トータル・リメイン・カウンター (TOTAL REMAIN：総残量時間)

〔TIME〕キーを何度か押し、カウンター上部の表示を“TOTAL REMAIN”にすると、演奏が終了するまでの総演奏残り時間を表示します。

(ディスクの総残量時間 40分26秒)

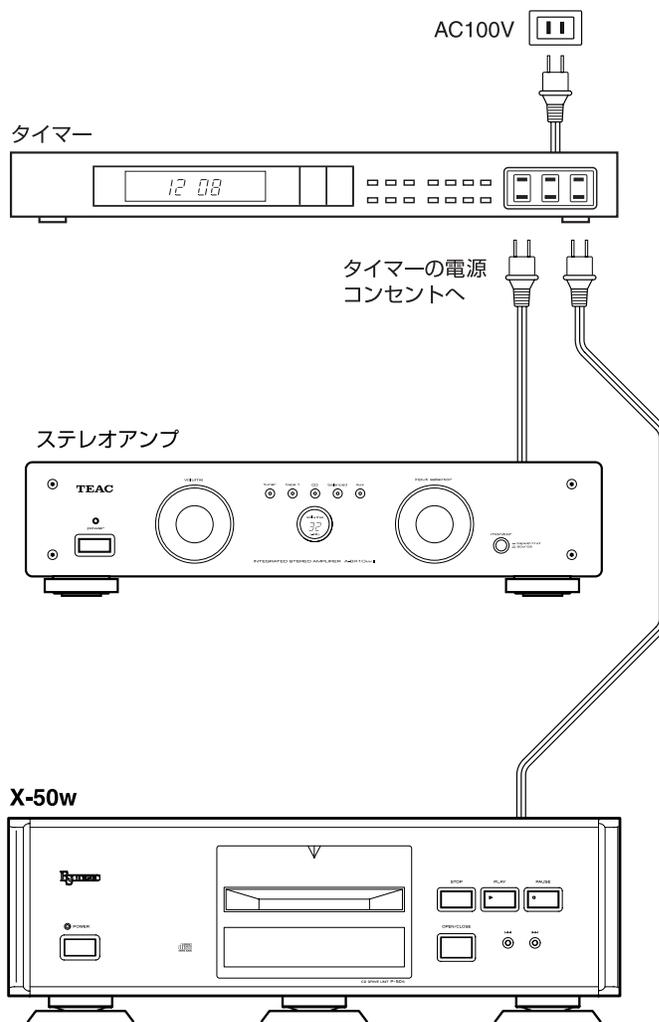


- 通常演奏の停止中に〔TIME〕キーを押すと、総曲数、総演奏時間を約8秒間表示します。

# タイマー演奏

さわやかな音楽で目を覚ましたい.....。

別売のタイマーを組み合わせると、希望の時刻から演奏を始めることができます。



1. 電源コードを図のように接続します。
  - 信号系の接続は、12ページを参照してください。
2. タイマーをONにして、各機器の電源スイッチを入れます。
  - 各機器に電源が入ります。
3. 本機にディスクを入れます。
4. アンプの入力をCDに切換え、音量を調節します。
5. タイマーを希望の時刻に合わせます。
  - 各機器の電源が切れます。
6. 指定した時刻になると、ディスクの演奏が始まります。
  - タイマー演奏が終了したときは、ディスクを取り出してください。

## このようなときは

少しお待ちください。サービスをご依頼になる前に、もう一度チェックしてください。  
 案外簡単な操作ミスや勘違いの場合もあり、ちょっとしたお手入れで直ることがあります。

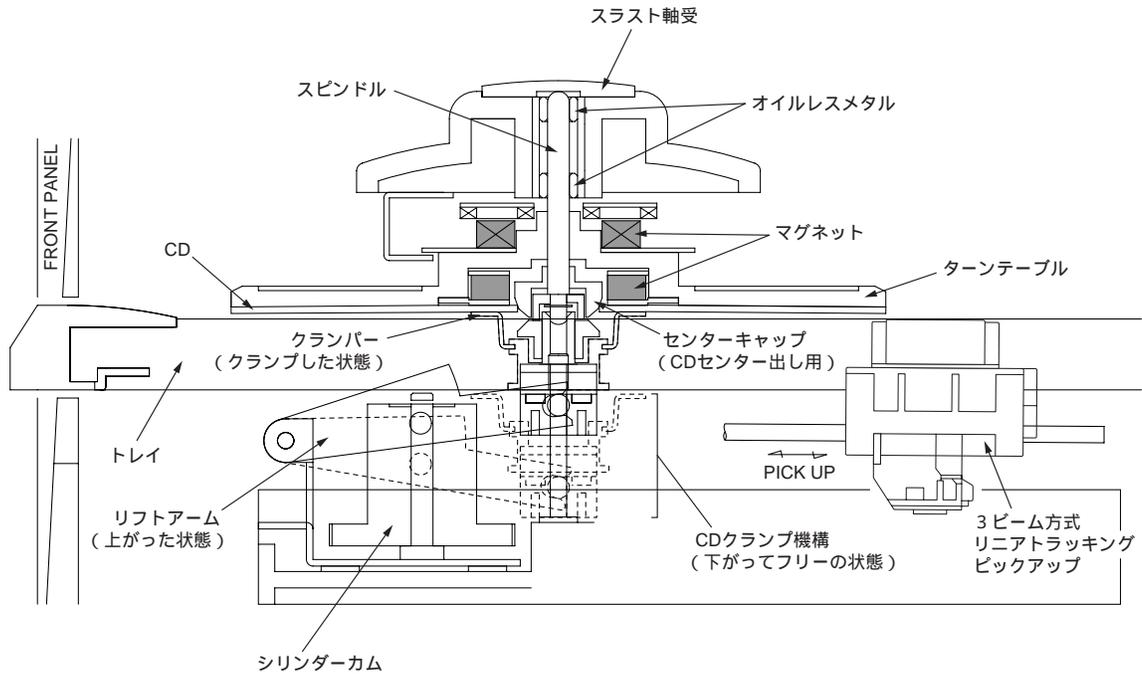
症状	原因	処置
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏返しになっている	ディスクのレーベル面を上にして入れてください
	防振装置が"LOCK"になっている	解除して"FREE"にしてください
音が出ない（小さい）	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプ操作を間違えている	アンプのスイッチの位置を確認してください
1曲しか演奏できない	1曲リピートモードになっている	"SINGLE"リピートを解除してください
プログラム演奏にならない	[PROGRAM] モードになっていない	[PROGRAM] キーを押して、表示窓に"PROGRAM"を表示させてください
	[PLAY▶] キーを押していない	[PLAY▶] キーを押してください
音飛びがする	プレーヤーに震動やショックを与えている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ハム音が出る	ピンプラグの接続不良	ピンプラグをしっかりと差し込んでください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーが近すぎる	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコン操作できない	本機の電源が入っていない	電源を入れてください
	リモコンに電池が入っていない	電池を入れてください
	リモコンの電池が消耗している	電池を新しいものに交換してください

# ブロック・ダイアグラム

X-50w コンパクトディスクプレーヤー

# 解説

## ■ESOTERIC X-50w ドライブ機構略図 (大径圧着テーパード・ターンテーブル)



### ディスクの反りを矯正する大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用の V.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)機構

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす、新開発の大径圧着式アルミ・テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスクと同径で、しかも微小な角度をもつターンテーブルに、高精度に調整されたクランパーがディスクを圧着し、反りや歪みを矯正。そして、ターンテーブルと同角度に微調整されたピックアップにより、常にピックアップ光軸の中心で微細なピットを正確に読み取ると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした、全く新しいディスク・クランピング・システムです。すなわち、ピットをきわめて正確に読み取ること、エラー補正量、サーボ量を大幅に低減。その結果、電気的にはサーボ電流の変動や読み取りエラーを激減させ、機械的にはサーボ時のレンズ振動に起因するノイズの発生や駆動部全体の振動など

により発生するノイズを極少にし、音質を飛躍的に向上させることに成功しています。

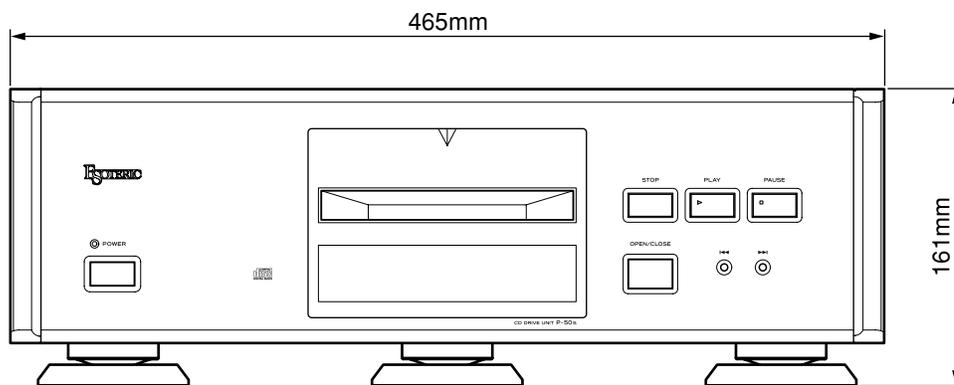
また、従来のCDプレーヤーでは、ピックアップ部とモーターを含めたターンテーブル部が、近接せざるを得ない構造であったため、強度や剛性の点で十分であるとは言えませんでした。

X-50wでは、ディスク・ドライブ・モーターを特殊高分子成型シャーシ上部に固定。ピックアップ部と完全分離することでモーター軸受、ピックアップベースの剛性、強度を飛躍的に高めることに成功しました。さらにターンテーブルに高剛性アルミ合金を使用。耐久性、回転安定性ととも高い信頼性の新開発ブラシレス・ホール・モーターと相まって振動に影響されず耐振・耐共振性を飛躍的に高めた高精度メカニズムを実現しました。

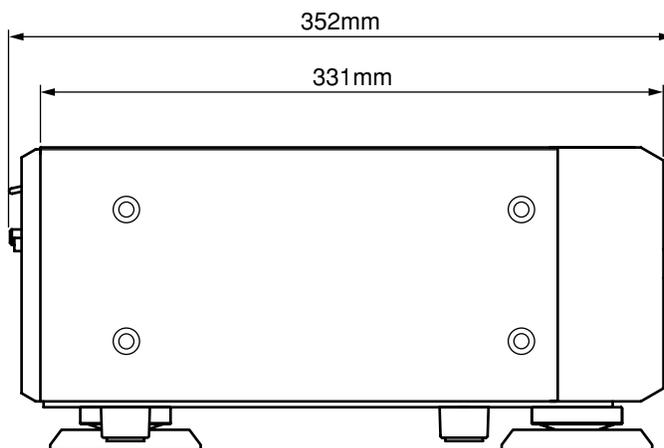
# 寸法図

## 本体 (CDトランスポート)

(前面)



(側面)



# 仕様

## 〈ピックアップ〉

駆動方式	: リニアモーター駆動
方式	: 対物レンズ駆動、光学式3ビーム
レンズ駆動方式	: 2次元平行駆動
光源	: 半導体レーザー
波長	: 780nm

## 〈オーディオ〉

オーディオチャンネル数	: 2チャンネル
周波数特性	: 20Hz ~ 20kHz $\pm$ 0.5dB
SN比	: 92dB以上(un-weight)
全高調波歪率	: 0.006%(un-weight)
ワウフラッター	: 測定限界値以下(水晶発振精度)
チャンネルセパレーション	: 110dB以上
アナログ出力	: 4.2Vrms $\pm$ 5% at 1kHz (10k 負荷)
D/Aコンバーター	: 18ビットDAC $\times$ 4
デジタルフィルター	: 8倍オーバーサンプリング・ デジタルフィルター

## 〈一般〉

電源	: AC100V 50-60Hz
消費電力	: 12W
本体寸法(WxHxD)	: 465 $\times$ 161 $\times$ 352 (mm)
質量	: 25kg

## 〈リモコンRC-760〉

方式	: 赤外線パルス方式
電池	: DC3V (単3、SUM 3) $\times$ 2
寸法(WxHxD)	: 57 $\times$ 21 $\times$ 216 (mm)
質量	: 約320g (電池含む)

## 〈付属品〉

- 電源コード $\times$ 1
- RCA同軸コード $\times$ 1
- リモコン(RC-760) $\times$ 1
- 乾電池(単3、SUM 3) $\times$ 2
- ロックプレート $\times$ 1
- インシュレーター $\times$ 3
- ご愛用者カード $\times$ 1
- 取扱説明書(バインダー含む) $\times$ 1

\* 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

\* 製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。

# 保証とアフターサービス

## ■保証書

保証書は御愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付の御愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から一年です。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、ご購入の販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

30ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。  
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDプレーヤー X-50W

ご購入日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

## ■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。  
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

# ティアック株式会社

ティアック エソテリック カンパニー  
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

## この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、  
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

### AVお客様相談室



**0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3  
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

## 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。  
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

### ティアック修理センター



**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7  
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。